インド太平洋に於ける台湾、日本、NATOの戦略的連携：　バルト三国との教訓と機会研究会

テ　ー　マ　　ISDP･遠景基金会共同『自由主義国際秩序の将来』研究会は順調に推移して2年目を迎えリトアニア及びチェコを訪問した。その際ISDP及び遠景と同研究会の後継として『インド太平洋に於ける台湾、日本、NATOの戦略的連携：バルト三国との教訓と機会』研究会を新たに発足させてはどうか、との合意に至った。

第二次トランプ政権の発足により、米欧関係、米中関係、を始め国際情勢が益々流動的になる中で、日欧の戦略的連携は極めて重要であると共に、2024年11月の「北欧バルト三国首脳会議」の共同声明の通り、ロシアに強い危機感を抱き最前線で対峙している北欧及びバルト三国から学ぶことも多々あると考える。

本研究会では台湾有事を抑止すべく、サイバー、経済/社会強靭化、戦略的コミュニケーションに焦点を当て、日本、台湾、及びNATOの連携を如何に発展させるかを研究し、欧州、台湾、並びに日本の政府関係者も招き、3者の共同研究を従来のTrack 2.0からTrack 1.5に昇格させ、より包括的で現実的な報告書の作成を目指す。

尚、2年間の研究期間の1年目にはフランス、ドイツ、ベルギーを訪問しNATO本部、各国外務省等との情報交換を行い、2年目にはエストニアで対面でのシンポジウムを開催すると共にラトビアのNATO STRATCOM等を訪問し議論を深める予定である。

期　　間　2025年4月1日～2027年3月31日

開催年月日　オンライン会議
①2025年4月16日
②2025年6月18日
③2025年8月27日
④2025年10月29日
⑤2026年2月4日
⑥2026年3月2日

欧州訪問
2025年12月6日～2025年12月14日

メンバー　兼原　信克　（主査）

一般財団法人鹿島平和研究所 評議員

公益財団法人笹川平和財団 常務理事

元 内閣官房 副長官補

元 国家安全保障局 次長

平泉　信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

石井　正文

元 駐インドネシア大使

元 NATO日本政府代表

りそな銀行 理事

川島　真

東京大学大学院 教授

中曽根平和研究所 研究本部長

四方　立夫

一般財団法人鹿島平和研究所 客員研究員

三井物産株式会社 社友

Dr. I-Chung Lai

President, The Prospect Foundation

Dr. Raymond Sung

Vice President, The Prospect Foundation

Dr. Norah Huang

Director, The Prospect Foundation

メンバー　Dr. Niklas Swanström

Executive Director, Institute for Security and Development Policy, Stockholm

Ambassador Lars Vargö

Head of the Stockholm Korea Center of Institute for Security and Development Policy

Former Swedish Ambassador to Japan and South Korea

Dr. Jagannath P. Panda

Head, Stockholm Center for South Asian and Indo-Pacific Affairs (SCSA-IPA) and Executive Editor for Institute for Security and Development Policy, Stockholm